

アジ干物の素揚げ レシピ普及へ新戦略

アジ干物の素揚げを使ったレシピ開発を目指すまちおこし研究会「食壇沼津」(会長・渡辺一浩沼津ぐるめ街道振興会長)は1日、沼津市内で会合を開き、新レシピの普及を見据えた戦略の作成に着手した。干物の生産者から販売する飲食店まで約40人が所属し、連携しながら新たな「沼津の味」発信を狙う。

沼津 まちおこし研究会

同市は15年前から学校から勉強会や視察で準備給食でアジの干物の素揚げをしてきた。

この日は地域住民、観の年齢以下の市民には慣れ親しんだ思い出の味。光客、大都市住民とター関係者は、焼く以外の揚売企業グループと生産者ける調理法は家庭料理でグループの四つでそれぞれの利用度を高めるほか、小骨問題の解決や臭みのれ討議を行い、自社が置かれた環境の課題や強み



グループ討議で課題を整理する参加者たち

沼津市内

消費低下 打開策に

軽減などでも有効で、干を列挙した。今後は業種物の消費量低下の打開策を交えたグループをつくることになる。講師は日本販路

がら来年2月に戦略をまとめる。講師は日本販路コーディネーター協会の小塩穂之理事長が務める。渡辺会長は「知名度が高い割に消費が少ない現状を打破するために戦略が必要。何をすべきか一緒に考えながら連携していきたい」と話した。

災害時情報伝達に有効

F M コミュニティ

調査 経費で否定的意見も

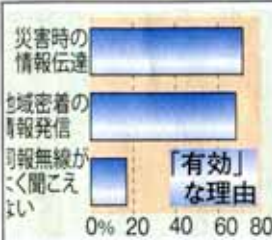
と市 豆の市伊

「コミュニティFMは災害時の情報伝達や地域情報発信には必要。共同でコミュニティFMの開設について検討している伊豆市と伊豆の国市が実施した両市民向けのアンケート調査で、こんな市民の意識が浮かび上がった。市からの情報入手にコミュニティFMが有効とする回答が過半数を占めたが、「ラジオを聴く習慣がない」「経費がかかる」など否定的な意見も目立った。

「有効」「どちらかと言えば有効」の回答は両市で62・2%を占め、「分らない」の18・7%、「有効でない」「どちらかと言えば有効でない」の計13・3%を大幅に上回った。

「有効」の理由は「災害時の情報伝達に有効」が71・6%、「有効でない」の理由は「ラジオを聴く習慣がない」が58・8%で、それぞれトップだった。

「コミュニティFMとのかかわりについては、「放送を聴いてみたい」が58・7%、「興味がない」が13・3%など。災害時以外に必要な情報を聴いたところ、「行政情報」や「イベント情報」が多数を占めた。



同市の担当者は「今回実施の具体的な位置が

大臣表彰を報告

富士宮・大富士社協

富士宮市大富士地区社会福祉協議会の太田幸治会長ら関係者が2日、市役所に須藤秀忠市長を訪ね、社会を明るくする運動法務大臣感謝状の受賞を報告した。

同協議会は2001年から区民集会を開催し、小中学生の作文発表や啓発映画の上映、健康体操などを実施している。事業内容が先駆事例として周辺地区にも広がるなど、地域を挙げた長年の活動が評価されて民間協



法務大臣感謝状を受けた大富士地区社会福祉協議会の関係者ら(富士宮市役所)

太田会長は「地区の方々の努力で受賞することができました。社会を明るくする運動をきり、今後は「ヨウせいり」もまた